

もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟
〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17
電話・FAX (082) 296-5597
E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp
URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>
郵便振替口座 01380-6-37958

山岳・辺境文化セミナー '13

10 月 19 日 (土) 開催予定

講師 プロ登山家 竹内洋岳氏

第 21 回山岳・辺境文化セミナーが来る 10 月 19 日 (土) 開催されることが内定した。

講師は竹内洋岳氏 (プロ登山家) タイトルは「挑戦し続ける想いー 8,000m 峰 14 座完登の軌跡」の予定である。国際部では多数の聴講を希望している。

プロ登山家 竹内洋岳プロフィール

1971 年生まれ、東京都出身。立正大学仏教学部卒、株式会社 ICI 石井スポーツ所属。登山好きな祖父の影響を受け、幼少より登山とスキーに親しむ。高校、大学で山岳部に所属し登山の経験を積み、20 歳で初めてヒマラヤの 8000m 峰での登山を経験。1995 年にマカルー (8463m) 東稜下部初登攀より頂上に立ち、1996 年には、エベレスト (8848m) と K2 (8611m) の連続登頂に成功し活動をヒマラヤに集中させていく。

2001 年からは、ドイツ人クライマー、ラルフ・ドゥイモビッツやオーストリア人女性クライマー、ガリンダ・カールセンブラウナーをメインパートナーとして、各国のクライマーと少人数の国際隊を組み、酸素やシェルパを使用せず、アルパインスタイルを積極的に取り入れた速攻登山で複数の 8000m 峰を継続する登山スタイルを取り入れる。2007 年にパキスタンのガッシェルブルム II 峰 (8053m) で雪崩に巻き込まれ、腰椎破裂骨折の重傷を負い、生命の危機に陥ったが、

各国登山隊のレスキューで奇跡的に生還した。もはや登山への復帰は絶望的ともいわれたが、手術、リハビリにより、わずか 1 年半後には、事故のあったガッシェルブルム II 峰へ再び挑み登頂に成功した姿は多くの賞賛を受けた。

救急法講習会・山岳レスキュー講習会報告

時：6 月 22 日～23 日

場所：広島ビッグウエーブ

受講：39 名

命に係わる内容なので真剣に受講

遭難対策委員長 堀内輝章

平成 25 年度救急法講習会・山岳レスキュー (無積雪期) 講習会は、6 月 22 日から 23 日、広島ビッグウエーブ会議室 (東区牛田新町) で開催された。

写真は講習会の様子 (写真提供 森本 覚)



講師は、日本赤十字社広島県支部山田純一先生。受講者は 39 名 (スタッフ含む)。

講習会の内容は、傷病者への接し方、基本の手当及び一次救命措置 (心肺蘇生法・AED を用いた除細動・気道異物除去) 搬送方法等。今回は検定もあり、検定合格者には「赤十字救急基礎講習終了者認定証」が交付されることになっている。命にかかわる内容なので皆さん真剣に受講されていました。

山岳レスキュー講習会に参加して

冷静に判断し、行動することの大切さ学ぶ

日本山岳会 広島支部

若槻直美

6 月 22～23 日の 2 日間、救急法と登山中のトラブル対処法を教えてくださいました。山に登ると日常生活では見ることのできない美しい風景や達成感を味わうことができますが、一方で危険とも隣り合わせです。山に登る以上、事故に遭う確率をゼロにすることはできませんが、その確率を少しでも減らせるようにと今回の講習会に参加しました。

事故を未然防ぐためには、登山を計画する段階から危険を想定して準備すること、万一トラブルが発生しても冷静に判断し行動することの大切さを学びました。また、そこに立ち会った人と携帯している登山道具で、いかに傷病の悪化を遅らせ安全に医療機関へ移送するか実習を交えて教えてくださいました。この他に、講師の先生に便利グッズを紹介していただいたり、身近な素材で応急処置の道具を作ったりしました。これらは山だけでなく災害があったときにも役立ちます。

安全に登山を楽しむために、これからも知識や経験を積み重ねていきたいと思いました。

山岳レスキュー講習会に参加して

二日間の救急法講習を終えて

個人会員 錦織 誠

山田先生のユーモアを交えての講習、分かりやすい解説、ひとりひとりに目を配っていただき自分のものに出来たかと思えます

実技の一次救命処置には三人一組で取り組み。スタート時点でうまく出来なく反復練習。山田先生の指導でだんだんと回数を重ねるごとに皆さん真剣に取り組み、うまくなっていきました。

もしもの時二日間受けた講習で習得した正しい知識と技術で対処しようと思えます。

講習主催者、関係者の方有り難う御座いました。

写真は講習会の一コマ (写真提供 森本覚)



平成 25 年度第 1 回全員協議会報告

70 周年記念登山報告—残念ながら敗退

日時：7 月 4 日 (木) 19:00～20:45

場所：三篠公民館

議題 1、アンプ I 峰報告

- 2、本年度事業計画
- 3、賛助会員のお願い
- 4、出席会員の自己紹介、意見発表、事業計画の補足

1、アンプ I 峰登山報告 (70 周年記念登山隊)

最初に 70 周年登山隊アンプ 1 峰 (6,840m) 登山隊報告が松島宏氏 (サブリーダー) からパソコン映像を使って報告があった。期間は 2012 年 10 月 20 日～11 月 26 日 (日本発着 36 日間)。6,840m の頂上を目指したが残念ながら途中で敗退した。詳細は報告書に記載してあります。

2、本年度事業計画について

山田理事長より、本年度事業計画、岳連組織・運営・会計の現況について総括的に報告があった。

3、賛助会員のお願い

山田理事長から財政難のおりから賛助会員加入のお願いがあった。

4、出席会員の自己紹介、意見発表、事業計画の補足

主な発言は次のとおりである。

岳連は山岳情報の発信基地であってほしい

- ①韓国高校生が今年も来日する。7 月 22 日下関、23 日、24 日比婆山・大山登山、7 月 25 日歓送迎会を予定しているのでご協力願いたい。(国際部)
- ②事務局の落海さんが退任されるので、後任を募集している。また、国際部のスタッフも募集している。
- ③11 月 16 日きのこ研修会を西区民文化センターで開催予定である。
- ④スカイランの実行委員会を早急に立ち上げたい。
クライミングで中野稔が全日本代表でフランス、オーストリアに出場。(競技部)

岳連加入のメリットは何か

- ⑤山岳連盟加入のメリットは何か、会員から問われている。
- ⑥岳連は山岳情報の発信基地であってほしい。また、事故が起きないように指導体制を構築していただきたい。
- ⑦よく言われることであるが、若手を養成していただ

きたい。

- ⑧若い人に入会してもらいたいこともあり、会のホームページを開設した。岳連とのリンクもしていただきたい。
- ⑨普及部で自然保護の活動をしている。

検討委員会設置し本格検討を

- ⑩岳連の今後について検討委員会を作って本格的に計画検討していただきたい。
- ⑪安佐北区役所に協力して可部山岳マラソン大会を行った。450 名参加、来年も実施の予定である。
- ⑫宮島登山道整備に関して許可を取って実施してほしい。
- ⑬8 月 25 日に沢登り研修会を計画している。

全員協議会出席者 (2013・7・4 三篠公民館)

京才昭 (会長)・山田雅昭 (理事長)・野島信隆 (副会長)・福永やす子 (東広島山の会)・山本拓志 (宮島太郎の会)・久保信義 (広島山岳会)・上原民樹 (個人会員)・菊間秀樹 (県庁山の会)・小林敏行 (可部山岳会)・後藤裕司 (広大山の会)・村井仁 (県庁山の会)・岩内秀昭 (クライムハイ)・豊田和司 (事務局長 JAC)・今澤勝美 (個人会員)・石田諫 (広島やまびこ会)・寺田正弘 (タンネン)・小方重明 (広島三峰会)・仲井正美 (ひこばえ)・佐藤建 (CERO クライミングクラブ)・松島宏 (広島登山研究所)・永津信吉 (マツダ)・円広利恵子 (JAC)・杉本陽二 (マツダ)・平田三男 (可部山岳会)・森智昭 (ひこばえ) 以上 25 名

岳連短信

1、賛助会員のお願い

財政の強化のため賛助会員を募集しています。岳連の発展のためご協力をお願いします。

口数 個人 1 口 (5,000 円) 以上

加盟団体・法人の場合

1 口 (10,000 円) 以上

1、賛助いただける口数でお願いします。

2、申込書と申し込み口数を山岳連盟事務局まで

お届けください。

3、振込先 広島銀行横川支店 (口座番号 (普通)
014-3251234 加入者名一般社団法人広島県
山岳連盟会長 京オ 昭

2、受贈御礼

(福山山岳会) 会報 平成 25・7

事務局便り・山行予告・山行計画。山行報告・アンケート・山登り 10 訓・ 6 頁

J A C Hiroshima 第 4 8 号 2013/7/1

日本山岳会広島支部報

フラッシュユース・総会特集：5 代目支部長兼森志郎氏就任・新入会員紹介・例会報告など 32 頁

3、IFSC 国際競技大会日本代表選手

中野稔さん (株式会社ゼロ) は成績優秀により 2013 年の国際スポーツクライミング連盟 (IFSC) 主催の国際競技大会へ日本代表選手とすることが決定した。派遣競技会名：IFSC ボルダリングワールドカップ第 1 戦 中国、重慶大会 第 2 戦フランス、ミヨー大会 派遣期間 平成 25・3・20～3・24 平成 25・4・3～4・7 (平成 25・4・11 付 日本体育協会会長神崎忠男)

4、国民体育大会中国ブロック大会総合第 2 位

第 68 回国民体育大会中国ブロック大会山岳競技総合第 2 位 成年女子 広島県 平成 25・6・16

5、人事異動

落海篤子 氏：事務局担当の落海篤子氏は一身上の都合により退任されることになった。(2013・6・30 付) 大変お世話になりました。有難うございました。

藤田光政氏：初期のころからスカイラン設営担当し、功績があった。このたび熊本県へ帰省されるため退任。(2013,6,30 付) 大変お世話になりました。有難うございました。

6、矢野三山たんけんマップ

矢野から登る△絵下山△発喜山△明神山

矢野南里山遊歩会 やのみ一探検隊 2011・1・1

7、「ちゅうごく 山歩き」松島宏著 発刊

B5 版 56 頁 (オールカラー) 定価 500 円

中国新聞夕刊に毎週水曜日に掲載されている「ちゅうごく山歩き」の 2012 年 3 月～13 年 4 月までの 50 山を紹介。松島宏著。登山ルート地図、所要時間、アクセス、登山帰りに利用できる温泉施設、山歩きや装備、等高線の入った地図の読み方、緊急時の対応など掲載。(フタバ図書八丁堀店調べ (中国新聞 6・30) でベストセラー 4 位となっている。)

山の風景 30

三重県 大杉溪谷にて

2013・6・9 写真提供 森 智昭



編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○各研修会、講習会へ参加された方は積極的に報告書を提出ください。随時掲載いたします。

○会員団体会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

題字デザイン 今村みずほ 編集 仲井正美